

## 第2期高浜市子ども・子育て支援事業計画(案)に対する意見及び回答

### 1 パブリックコメント実施状況

- (1) 意見の提出期間 令和2年2月3日(月)～令和2年2月17日(月)
- (2) 意見件数 15件(人数3名(内訳:意見箱 3名))
- (3) 意見対応
- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 修正(原案に対する意見に基づいて原案を修正したもの)        | : 1件  |
| 加筆(原案に対する意見により原案に加筆したもの)          | : 2件  |
| 原案どおり(原案に対する意見を検討したが、原案のとおりとしたもの) | : 1件  |
| 意見として承り(原案の内容以外の意見を承ったもの)         | : 0件  |
| その他(感想やご質問など)                     | : 11件 |

| 番号 | 意見の対象箇所      | 意見   | 回答   | 対応    |
|----|--------------|--|--|-------|
| 1  | 1ページ全体       | <p>計画策定の背景</p> <p>子育て支援の充実を図るため、待機児童の解消を図るため子ども園の設立・保育園の民営化部分</p> <p>○子ども園設立にしたのに待機児童が生じているので民営化した理由は何か、なぜ公立で対応しなかったのか、その理由を解るようにしてください。</p> | <p>たかはま子育て・子育て応援計画(次世代育成支援対策地域行動計画)において、多様化する保育ニーズに対し、柔軟に対応していくために民間への移行を進めてきたものです。</p>              | 原案とおり |
|    | 50ページ1行目～2行目 | <p>切れ目なくつないでいくため ～ 努めます</p> <p>○何をしていくのか具体的にイメージがつかめないのどのような計画をするのか回答をしてください。</p>  | <p>小1プロブレムという問題がある中で、円滑な小学校生活につながるように、園児が小学校に行く機会や学校の教諭と保育士・幼稚園教諭の協議の場等による各種連携をしていくものであり、イメージしやす</p> | 加筆    |

|   |       |   |  |     |
|---|-------|---|--|-----|
|   | 全体的に  | <p>全体的に数字ばかり出す事に重きを置き内容的には薄いように見え具体的に市としてどのような計画をするのか非常につかみにくい、現状把握が弱いように感じます。</p> <p>(子育て中の親の悩みはもっと多くあるように思います)</p>  | <p>いようにそのような表記を加えます。</p> <p>本計画は子ども・子育て支援法に基づき、市町村が量の見込みや確保内容等を定めるものであります。今後も様々な機会を捉え、子育てニーズの把握に努めてまいります。</p>                      | その他 |
| 2 | 38ページ | <p>働く母親にとって保育園や学童保育の充実が切実です。</p> <p>「・・・待機児が一定規模数いますが、各小学校区単位で見ると分散した状況となり、夏季休暇を過ぎると大部分解消される現状です。」とありますが、待機児解消には定員増や施設増などをしないと改善しません。実態は母親が仕事をやめたり、鍵っ子にしたり、塾通いをさせたり等、やりくりしただけではないでしょうか。解消されたことに疑問が残ります。</p> <p>以下の点についてご返答願います。</p> <p>① 平成27年から30年まで新学期が始まる時に希望者全員登録できたのでしょうか。</p> <p>② 令和元年のみ5人待機者がいたようですが、対応はどうしましたか。</p> <p>③ 今現在どうなっていますか。</p> | <p>各児童クラブは毎年、学年が上がる際の春休みに環境変化の緩和のため、弾力運用による受け入れを実施しています。</p> <p>令和元年の5人は放課後居場所事業及びセンターキッズを活用しており、空きが発生した時点で児童クラブ利用に切り替えた方もいます。</p> | その他 |
|   | 43ページ | <p>病後児保育にも取り組んでいるのを知り今後の充実を望むものです。病気の子どもを祖父母に預けることは、子どもはもちろんですが祖父母の健康も気がかりなものです。</p> <p>以下の点についてご返答願います。</p> <p>④ 幼児だけでなく学童も対象ですか。</p>  | <p>利用できる人は、市内に住んでいる生後6か月以上小学校3年生以下の児童としています。</p> <p>周知方法は、高浜市公式ホームページや子育て情報を取りまとめたポータルサイト「子育て支援ネットワーク」に掲載しています。また、保育園・幼稚園等</p>     | その他 |

|   |                     |   |   |     |
|---|---------------------|---|---|-----|
|   |                     | <p>⑤ この政策は父母に知られていますか。</p> <p>毎年インフルエンザが流行するため、病気にかかる前に予防接種の奨励をしています。しかし保険が適用されず父母負担が大変です。受験生を持つ親にとってもインフルエンザ流行はとても心配です。高浜市からインフルエンザ流行がなくなることは、医療費低減にもなり、全世代にとって歓迎されます。是非とも「子育て支援」として下記要望にご返答願います。</p> <p>⑥ インフルエンザ予防接種費用への公費補助を。</p>   | <p>の入園申込案内時でプリントの配布や入園のしおりに掲載しています。</p> <p>最近では、定期接種が充実し、令和2年10月にはロタウイルスワクチンの定期接種も始まります。現在も複数のワクチンの導入が審議されています。まずは定期接種の確実な実施を優先していきますので、任意接種の助成は考えていません。</p>  | その他 |
| 3 | 38ページ<br>利用状況、量の見込み | <p>全体では一定いるといいながら、夏季休暇を過ぎると大部分が解消される現状である。・・・必要であるが夏季休暇を過ぎると経済面、学童保育から家が遠く、迎えに行く時間など考えて通わせることを中止させることもあります。表50を見ると5月1日現在で待機児童がいないことになっていますが、これは4月の段階で学童に入れない方は、次の方法を考えてということではないかと思います。5月で待機児童はいないということは納得はいきません。9月になってならまだ理解できるが。</p> <p>さらに、学童に入れない方、だけでなくキッズクラブにも入れない方は、どこにも出ていないがなぜか？</p> <p>高学年の申し込みは少なくとあるが、高浜市は学童に入れるのは、1～3年で、中には2年生で打ち切りということもあったので、父母が、今までの歴史でそれを理解しているので、4年生になっても本当は学童に通わせたいと思っても先にききかた</p> | <p>児童クラブについては、時期的なニーズに対応できるような、様々な配慮をしており、学年が上がる際の春休みには環境変化の緩和のため、弾力運用による受け入れを実施していますし、夏季長期休暇については、一日当たりの利用者が減る傾向から枠を拡充しています。また、高学年については、児童クラブの枠組みを敬遠する児童も増える傾向にありますので、放課後居場所事業やセンターキッズという選択肢がありますので、子どもたちは利用しやすい居場所を選択しているものです。ただし、児童クラブやセンターキッズは要件をクリアする必要があります。今後も小学生の児童の居場所の確保に努めていきます。</p> | その他 |

|  |              |  |   |            |
|--|--------------|--|---|------------|
|  | <p>38ページ</p> | <p>いるのがある。その気持ちを理解しなければいけないと考える。以前4年生になる子が何人か入れなくて何とかしてと行政に詰め寄ったこともある。</p> <p>また、今の学童保育の現状を見ると芋の子を洗うような状態で、高学年まで入れるとなると躊躇してしまうこともある。</p> <p>子どもの成長には自主性、社会性の醸成が肝心であり、その推進を図る仕組みが重要、児童クラブだけで無く、子どもの成長に合わせて、子ども自身が自由に利用できる居場所の確保が必要。とある、言われることは理解できるが、学童にもキッズクラブにも入れない子にとって、小1の子にとっては、校区以外の施設に行くことは、1日だけよくらいならいいかもしれないが、知らない子ばかり、1人ではいけない、昼には帰ってこなければいけないなど仕組みはまだ出来ているとは考えられない。自由に利用できる居場所も確保されていないとかがえるが。</p> | <p>放課後居場所事業は各小学校で実施しており、登録すれば誰でも利用できるようになっています。</p>   | <p>その他</p> |
|  | <p>39ページ</p> | <p>長期休暇や雨天時には・・・児童センター等の地域の施設を活用した対応をしています。とあるが、現在どこで、どのように対応しているのか。現在実施しているのか。</p> <p>学童にもキッズクラブにも入れない子どもにとっては、「話が違う」となるが、この点ではどうか。答を。</p> <p>吉浜で言えば、児童センターはいっぱい。そこに居場所事業の子どもが来たらとしたら、どうなるのか。さらに、学校から距離があって、来ることはできないと考える。施設を増やすことが必要である。</p>   | <p>日中保護者がいない児童が放課後居場所事業のない日に利用する居場所として、児童センター等の公共施設を放課後、帰宅することなく、加えて長期休暇は弁当持ちで利用できるようにしている事業としてセンターキッズがあります。全ての小学校区で実施していますが、児童クラブと同様の要件がありますので、それをクリアした児童が対象となります。</p> | <p>その他</p> |

|  |                |   |   |     |
|--|----------------|---|---|-----|
|  | 42ページ          | <p>表60と表62を比べると、幼稚園の預かり保育は個所数が6から3に減っているが、これはなぜか、数が減っているのに回あまりかわらずとなると、一箇所の人数が増えるということか、説明を。</p>  | <p>図表62の幼稚園の預かり保育の個所数は、6箇所の誤記であります。</p> <p>認定子ども園幼稚園機能の預かり保育が漏れていました。</p>   | 修正  |
|  | 49ページ          | <p>質の向上ということが出ていますが、高取幼稚園からたかとり子ども園に移った子どもが、園に行くのを嫌がっていると聞いています。施設が新しいだけでは子どもは納得しません。今までの園とはちがう窮屈さがあるのでは無いかですか。土曜日の食事についてもしかり、子どもたちの気持ちに寄り添った対応を。</p> | <p>本計画に直接、関わる内容でないため、意見として承っておきます。</p>  | その他 |
|  | 50ページ<br>2行目   | <p>各園、各学校の連携に努めます。とあるが、具体的に示してほしい。</p>  | <p>小1プロブレムという問題がある中で、円滑な小学校生活につながるように、園児が小学校に行く機会や学校の教諭と保育士・幼稚園教諭の協議の場等による各種連携をしていくものであり、イメージしやすいようにそのような表記を加えます。</p> | 加筆  |
|  | 50ページ<br>下から3行 | <p>環境整備を進めるとあるが、どのような環境に整備するか。</p>  | <p>環境整備とは、マイ保健師(地区担当保健師)が、母子健康手帳の交付時から継続して切れ目のない支援をするというソフト面での環境整備です。</p>   | その他 |
|  | 50ページ          | <p>7妊娠期からの切れ目のない支援体制の確立のなかで、とりわけ産前産後の育児不安や、産後うつなどで悩んだ方が、総合的に相談できる体制やサポートが必要です。とありますが、</p>   | <p>市では、母と母が交流する講座として、初産の母親向け講座「BPプログラム赤ちゃんがきた」を実施しています。また、先輩ママやパパとの座談会も実施し</p>  | その他 |

|  |  |   |   |            |
|--|--|---|---|------------|
|  |  | <p>母と母、子どもを育てた人も入れたような集団、小さな集団もあると良いと思いますがどこにもありません。ぜひ作って。</p> <p>他に、インフルエンザワクチンに助成を、高校卒業までの医療費助成をお願いします。</p> | <p>ています。今後は、こうした事業を市民の皆さんに周知してまいります。</p> <p>最近では、定期接種が充実し、令和2年10月にはロタウイルスワクチンの定期接種も始まります。現在も複数のワクチンの導入が審議されています。まずは定期接種の確実な実施を優先していきますので、任意接種の助成は考えていません。</p> | <p>その他</p> |
|--|--|---|---|------------|